Help

5

All campaigns

202412KeMCo

sent

View report

Campaign Preview

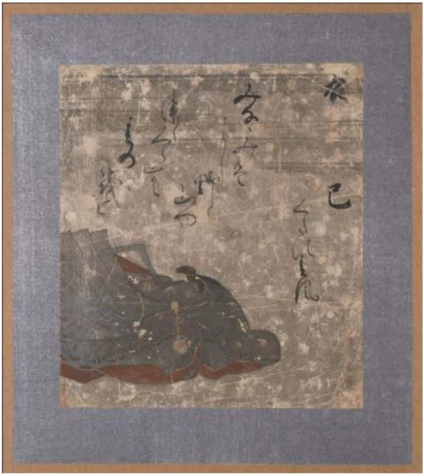
HTML Source

Plain-Text Email

Details

View this email in your browser

KeMCo



十二支歌仙歌合色紙帖、江戸時代前期（17世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）

「Land-scape－お持ち帰りできる風景」展はいよいよ明日をもって閉幕します。
次回展は恒例の「KeMCo新春展」です。かわいい？ちょっと怖い？？干支のあの生き物を主役に、みなさまをお迎えします。

KeMCoの近況

【明日まで】Land-scape – お持ち帰りできる風景

撮影：村松桂（カロワークス）

10月より開催し、好評をいただいております「Land-scape – お持ち帰りできる風景」展は、いよいよ明日で閉幕します。お見逃しなく。

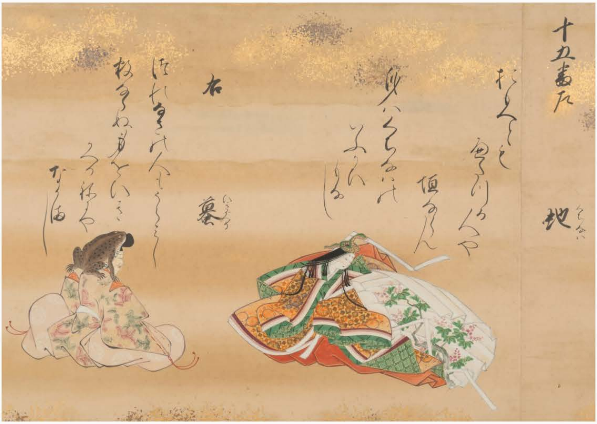
＊＊＊＊＊

四季のめぐりとともに常に変化し続ける風景を楽しむために、古くから現代まで、私たちは風景の在る場所に絶え間なく足を運んできました。その一方で、中世より、書物や版画、そして写真といった複製技術を用いて、動かぬ風景の諸相を再構築し、再創造する営みを続けてきました。
本展覧会は、西洋中世の写本装飾に見る風景前史から始まり、近代旅行記が伝えた異国の風景、理想風景とグランド・ツアー、ピクチャレスクの旅、葉書で送られる風景といった7つのテーマのもと、写本や稀覯本（きこうぼん）、版画や写真、絵葉書や旅の道具などの紹介を通じて、みなさんを「お持ち帰りできる風景」を巡る旅にご招待します。

会期｜2024年10月7日（月）～**12月6日（金）**［土日祝休館］11：00～18：00
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学三田メディアセンター

Land-scape – お持ち帰りできる風景

【次回展】KeMCo新春展2025「へびの憩う空き地」



虫の歌合、［居初つな］筆画、［江戸前期］写、六曲一双、慶應義塾図書館

2025年の干支は「巳（み）」。細長い体にさまざまな紋様をまとい自在に動き回るへびを、人々はときに恐れ、ときに崇敬してきました。神の使い、命を司るもの、知恵者、執着の化身など、へびは洋の東西を問わず、多彩なイメージをもって文物に表されています。本展覧会では、新年の幕開けに、慶應義塾のキャンパスで文化財を巡る活動を行う部門から、「へび」にまつわる稀覯本、屏風、鏡、写真、装飾額など多様な作品を集め、すこし怖い、でも鮮やかなへびたちの住処にみなさまをご案内します。

KeMCo新春展2025「へびの憩う空き地」

会期｜2025年1月9日（木）～2月7日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜1月18日（土）、2月1日（土）
臨時休館｜1月20日（月）、2月3日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学三田メディアセンター

【関連企画】
ギャラリートーク（要予約）
日付｜2025年1月18日（土）午後
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ

申し込み開始等は詳細が決まり次第ウェブサイト、SNSでお知らせします。

KeMCo新春展2025「へびの憩う空き地」

【12月16日（月）～26日（木）】KeMCo Staircase Lab.「モノは世界への窓」（展示）

展覧会
モノは世界への窓
眞壁宏幹ゼミ × KeMCo Staircase Lab.

KeMCo Staircase Lab.
Staircase Lab.は、慶應義塾の教員とその教員が指導する学生たちとのコラボレーションを通じて、さまざまな人々をミュージアムの活動との関わりに接続するKeMCoの実験企画です。それぞれの専門領域における教育・研究実践をミュージアムのなかで展開することで、実践をより深めたり、新たな気づきを得ることを目指しています。

眞壁宏幹ゼミ×KeMCo Staircase Lab. 「モノは世界への窓」
眞壁ゼミでは、2013年より「ヴァーチャル・ミュージアムVirtuelles Museum(VM:通称ドイツ語でファオ・エム)」という教育プロジェクトを行ってまいりました。本プロジェクトは、眞壁ゼミに所属する学生１人ひとりが「現在の自分を形成したモノ」を年度毎に決めたテーマに沿って選び、そのモノにまつわる経験を図像や言葉のキャプションをつけ作品化し、オンライン上で展示するというものです。本展では、そんなVMを慶應ミュージアム・コモンズの協力のもと、リアル展示として３次元上に具現化することとなりました。オンラインという平面を飛び出したモノたちをリアルに体感し、各ゼミ生が綴るモノにまつわる経験をリアルにご覧いただくことで、モノを見つめ直し、日常をいつもとは異なる角度から味わうおもしろさを体感していただけましたら幸いです。

KeMCo Staircase Lab.「モノは世界への窓」（展示）

会期｜12月16日（月）～26日（木）11：00～17：00
休館｜12月22日（日）終日、25日（水）11:00～14:30
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ（三田キャンパス東別館）Staircase（1F～3F）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾大学文学部人文社会学科 教育学専攻 眞壁宏幹ゼミ、慶應義塾ミュージアム・コモンズ

KeMCo Staircase Lab. 「モノは世界への窓」

Feedback

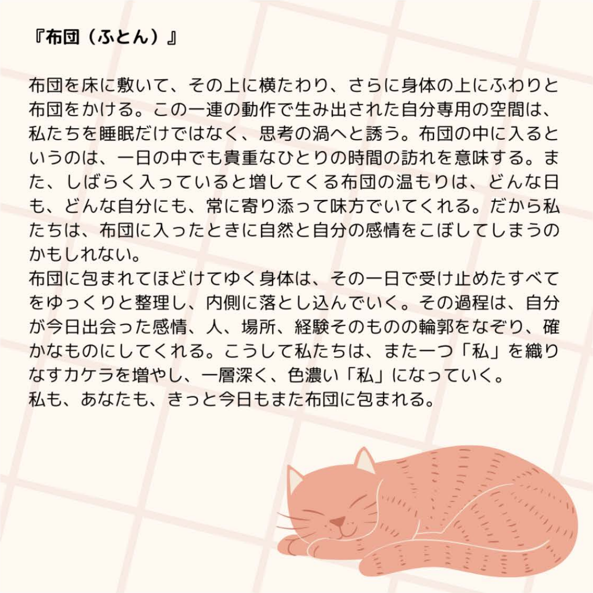
展示室より、推しモノ #33

KeMCo Staircase Lab. 「モノは世界への窓」へご協力をいただきました、文学部教授 眞壁宏幹先生より、ご寄稿をいただきました。

＊＊＊＊＊

文学部眞壁ゼミでは2013年より「ヴァーチャル・ミュージアム（VM） デジタル世界図絵」という教育プロジェクトを行ってきました。このプロジェクトは、眞壁ゼミの学生たちが「現在の自分を形成したモノ」を選び出し、そのモノにまつわる経験を図像と言葉（キャプション）で作品化、それをオンライン上に展示するというものです。今回は、この試みを慶應義塾ミュージアム・コモンズのご協力のもとStaircase Lab.でリアル展示することになりました。私たちはモノを通して世界と繋がっています。この展示が人生でどんなモノとの経験が大切なのかを振り返る機会になれば幸いです。展示の中から一つだけゼミ生が制作したモノ作品を紹介しましょう。

眞壁宏幹（慶應義塾大学文学部教授）



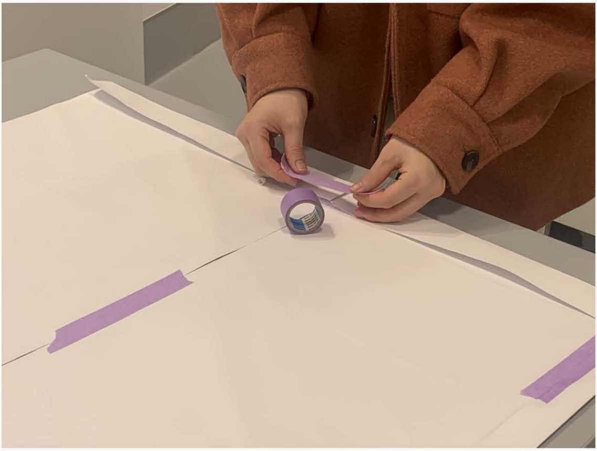
『布団（ふとん）』

布団を床に敷いて、その上に横たわり、さらに身体の上にふわりと布団をかける。この一連の動作で生み出された自分専用の空間は、私たちを睡眠だけではなく、思考の渦へと誘う。布団の中に入るというのは、一日の中でも貴重なひとりの時間の訪れを意味する。また、しばらく入っていると増してくる布団の温もりは、どんな日も、どんな自分にも、常に寄り添って味方でいてくれる。だから私たちは、布団に入ったときに自然と自分の感情をこぼしてしまうのかもしれない。

布団に包まれてほどけてゆく身体は、その一日で受け止めたすべてをゆっくりと整理し、内側に落とし込んでいく。その過程は、自分が今日出会った感情、人、場所、経験そのものの輪郭をなぞり、確かなものにしてくれる。こうして私たちは、また一つ「私」を織りなすカケラを増やし、一層深く、色濃い「私」になっていく。

私も、あなたも、きっと今日もまた布団に包まれる。

空き地



昨年に続きまして、KeMCo Staircase Lab.として、今回は文学部教育学専攻眞壁宏幹ゼミナールとのコラボレーションで「モノは世界への窓」展が12月16日（月）から開催されます。

さて、この文章を書いている私は、現在、学芸員補としてKeMCoで働いている者です。ですが、学部生のときは眞壁ゼミの学生であった人間でもあります。ですので、今回のプロジェクトが始まったとき、そして学生たちが準備しているとき、常にヒヤヒヤそして「これはこうした方が良いんじゃないか」等のおせっかいをグッと堪える……ということになりました。それでも、眞壁ゼミOBとして、眞壁ゼミが関心をもってきたBildung（陶冶・人間形成）について簡単に補足する、というおせっかいをお許しください。
私たちヒトはさまざまな情報を得て、環境に適応していきます。ですが、ヒトは単に情報量を蓄積していったり特定の刺激に決まった応答をするだけでなく、経験のしかた自体を、すなわちモノの見方自体を変えていくことがあります。こうしたモノの見方の変容のことをドイツ語圏ではBildungと呼ぶのです。
私たちはモノの側から促されて、モノの見方を変えていくことがあります。単に日常生活で利用する価値をもった意味以外に、そのモノにはどのような意味があるのでしょうか。このような観点で、眞壁ゼミは芸術作品や芸術制作が人間のモノの見方や関わり方にどのような影響を与えるのかということに関心をもってきました。今回のKeMCo Staircase Lab.は私たちがモノを介してどのようにBildungされてきたのかを省みる展示となる……ことを期待しています。

常深新平（KeMCo学芸員補）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

藤山一郎がゆく！　―「若き血」から国民栄誉賞まで―

10月17日（木）～ **12月14日（土）**
会場：図書館旧館２階　慶應義塾史展示館

SHOW-CASE PROJECT Extra-1　冨井大裕　モノコトの姿
10月21日（月）～2025年1月24日（金）
会場：慶應義塾大学アート・センター

第365回企画展示：古代中世 日本人の読書 – 慶應義塾図書館貴重書展示会ダイジェスト –
後期：11月25日（月）**～12月21日（土）**
会場：図書館1階展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2025*年*1*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2024 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan

INTUIT mailchimp